



2024年 5月23日

各 位

会社名 株式会社 東 天 紅
代表者名 代表取締役社長 小泉 和久
(コード番号 8181 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 佐藤 昇
電話番号 03-3828-6272

上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく進捗状況について

当社は、2023年5月31日に、東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。2024年2月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間について

当社の、2024年2月29日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりませんが、当初の計画のとおり2026年2月末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点) 2023年2月28日	3,864人	11,793単位	9.01億円	45.8%
当社の状況 (基準日時点) 2024年2月29日	3,748人	11,596単位	9.82億円	45.0%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	—	—	○	—
計画期間	—	—	2026年2月末日	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2023年3月～2024年2月）

(1) 基本方針

当社は、2023年5月31日に公表した「スタンダード市場の上場維持基準に向けた計画書」において、企業価値の向上を図り、早期の黒字化を目指すことで、上場維持基準を充たしていない「流通株式時価総額」の構成要素である「株価」の向上に取り組むことといたしました。

(2) 具体的な活動内容と評価

①活動内容

当社は、安心・安全な商品をお客様に提供し、企業価値を向上させることによる増収、また効率化を推進し利益率を向上させることによる増益により黒字化を目指し業績の回復に邁進してまいりました。

売上対策ではグリル・中小宴会の受注増加を目指しWEBの強化、対面セールスとオンラインセールスの融合、EC事業での販売経路拡大、空間ビジネスによる新たな販売チャネルの創造など様々な施策を実施し、更に粗利益確保のためにメニューの見直し等を実施してまいりました。

また経費対策並びに人手不足問題解消のためのDX化や予約システムの見直し等による効率化に取り組み、若手社員や女性社員を積極的に登用並びに教育、研修を実施することによりお客様満足度の向上を図ってまいりました。

更に、経営資源の選択と集中を推し進め、不採算店舗の閉店をすると共に、神戸中央区の遊休不動産の譲渡を実施してまいりました。

IR活動の強化と株主還元の施策は継続課題としております。

②評価

既存店舗の様々な取り組みに加え、不採算店舗の閉鎖をするなどあらゆるコストの圧縮を実施した結果、数値に関しては下記のとおり復調傾向となりました。

今後も活動内容を継続することにより更なる体質の強化を図り、早期黒字転換を目指してまいります。

③数値進捗

	売上（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	最終利益（百万円）
2023年2月期	3,704	△606	△202	△828
2024年2月期	4,679	424	389	△134

3. 上場維持基準の適合に向けた取組課題と取組内容

①課題

当社は、2024年2月末日時点においても、流通株式時価総額10億円の基準充足には達しておりませんが、昨年度の業績は復調傾向であり、流通株式時価総額が前年度より復調していること等を踏まえ、今後も安定した企業体質を維持しつつ、更なる「企業価値の向上」を進めることが課題であると考えております。

②取組内容

当社の企業価値を高めるためには、早期黒字化による株価上昇が必要と考えております。

計画2年目となる今期においては、昨年度の課題を踏まえ、2023年5月31日に提出いたしました「スタンダード市場の上場維持基準に向けた計画書」に記載した取組内容を更に押し進め、売上、利益の増加に努めてまいります。

③IR活動の強化

当社は、自社ホームページなどを通じて、株主・投資家向けの情報開示を行っておりますが、これらの一層の充実を図るとともに、今後もより多くのステークホルダーの皆様にご理解いただけるよう、引き続き積極的な情報発信を行ってまいります。

④株主還元の施策

当社は、株主還元について、重要な経営課題のひとつとして認識し、将来の成長のための投資や事業展開の状況、経営成績、財務状態等を考慮しながら、今後安定的且つ継続的な配当を実施できるような体制の構築を引き続き目指してまいります。

以上の取り組みにより上場維持基準への適合を目指してまいります。また各取り組みの実行により、収益力のある企業体質を構築し、事業を安定的・持続的に拡大させ、「企業価値の向上」を進めてまいります。

以上